

愛知県芸術劇場 自主事業 ラインナップ 2026

4.12(日)14:00 芸術監督クロストーク 町田樹×唐津絵理 トーク



芸術監督の唐津絵理が、多様なジャンルの専門家を迎えて行うトークシリーズ。ゲストには元フィギュアスケーターで、現在は研究者、解説者、振付家としても活躍されている町田樹さんをお迎えします。

アーツスペースA

8.20(木) オルガン・トークコンサート オルガン



ヨーロッパをはじめ、国内外でのリサイタルや作品の創作など、多方面で活躍するオルガニスト・作曲家の近藤岳によるコンサート。近現代のフランス音楽(フランク、デュリュフレ、メシアンなど)を中心にプログラムを構成。わかりやすい解説を交えて深掘りします。

■オルガン: 近藤岳(横浜みなとみらいホール・ホールオルガニスト)

■コンサートホール

5.2(土) 3(日・祝) 劇場ワンダーランド 体験 キッズ

オープンハウス

THEオルガンNIGHT&DAY ダンス オルガン

Null『LiMBO』

©Kosaku Nakagawa

Null『LiMBO』

©Naoshi Hatori

Null



県民の広場、世界への窓、そしてその先へ

愛知県芸術劇場は、県民の皆さんに開かれた「県民の広場」であるとともに、国際的な舞台芸術との出会いを可能にする「世界への窓」としての役割を担ってまいりました。そして今、その先に広がる新たな創造の地平を見据え、さらなる歩みを進めています。

貸館事業を通じて多様な表現の場を提供する一方で、自主事業においては、「みる（鑑賞）」「つくる（創作）」「そだてる（人材養成）」「ひろげる（普及）」を柱とし、劇場発の文化創造に継続的に取り組んでいます。国内ダンスアーティストの養成と発信を行う「Constellation」や、オルガニストの養成を通じて、創り手が劇場や地域とともに歩む環境づくりなど、多角的な取り組みを展開しています。

また、世界的に評価の高い海外ダンスカンパニーを継続して招聘し、地域にいながら最先端の舞台芸術と出会える機会を創出しました。次代を担う子どもたちに舞台芸術の魅力を伝える「劇場と子ども7万人プロジェクト」、すべての方に劇場の扉を開く「劇場ワンダーランド」、トークやワークショップなどの対話の場の充実、さらには字幕や鑑賞支援の整備など、多様なアプローチを通じてアクセシビリティの向上にも力を注いでいます。

公共劇場は、単なる上演の場にとどまらず、地域の文化を育み、創造の営みを次世代へとつなぐ循環を生み出す拠点でありたい。そうした思いのもと、今年度も多彩なプログラムを展開してまいります。皆さまのご来場を、心よりお待ち申し上げております。

芸術監督（アーティスティックディレクター） 唐津 紅理

©Tatsuo Nambu

アーティスト人材養成



『AAF 戯曲賞』 劇作家と戯曲を発掘する—

劇作家と戯曲の発掘を目的に、受賞作品を愛知県芸術劇場プロデュースで上演する「上演を前提とした戯曲賞」として2000年に設立。第23回より言葉で個と場と社会をつむぐ・つなぐ「言葉と個と場と」プログラムとしてリニューアルしました。演劇や戯曲がもつ力や可能性を拡大しつつ、地域課題や社会課題にアプローチする事業を展開していきます。第23回AAF戯曲賞の公開最終審査会を5月下旬に開催、第24回AAF戯曲賞の作品募集も実施予定です。



AICHI NEXT: Performing Arts Project

新たな才能・人材の発掘と養成を目的とする公募プログラム。小ホールや愛知芸術文化センター内のオープンスペース等での公演を通じて、作品の発表と発信を行います。採択プログラムには、制作費の支援に加え、上演に向けたサポートを行い、次世代アーティストによる領域横断的で実験的な作品や、地域資源の新たな魅力を発見する取り組みなど、ユニークで新規性のある企画を実現します。2026年度出演アーティスト:3月下旬発表予定。



『オルガニスト養成事業』 マンツーマンでパイプオルガンを学ぶ

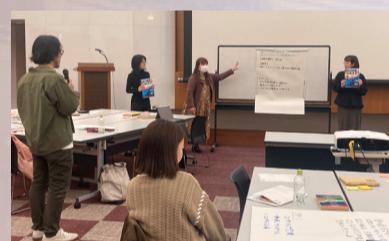
将来この地域からオルガニストが誕生するきっかけになることを目指して2018年度からスタート。劇場オルガニスト都築由理江がコンサートホールの大オルガンでマンツーマンレッスンを行います。これまでに音楽大学で本格的にパイプオルガンを学ぶ学生も輩出しています。



振付家・ダンサー養成事業

劇場ダンスアーティストや国内外の著名な講師による、バレエやコンテンポラリーダンスのレパートリークラスを開催。身体表現の最前線で求められる多様なスタイルへの適応力や表現力を磨く、実践的な学びの機会を提供します。

スタッフ人材養成



劇場職員セミナー

公立劇場の中堅職員を推奨対象者として、舞台芸術を担う人材を養成する研修プログラムを実施。講演・グループワーク・実習を通してスキル向上と情報共有を図り、劇場職員の専門性と交流を深めながら、より充実した舞台芸術環境の実現を目指します。



舞台芸術インターンシップ

劇場・舞台芸術に興味のある専門学校生・大学生などを対象に、演習・実習を通して創造に関わる仕事を学ぶインターンシップ。愛知県芸術劇場のプロデュース公演や様々な事業に参加し、舞台芸術の持つ力や、これからの方現場で求められる役割について理解を深めます。

鑑賞サポート



愛知県芸術劇場では障がいの有無に関わらず舞台公演を楽しめる社会を目指して主催公演で情報保障の取り組みを行っています。

●ヒアリンググループ
磁気システムを利用して補聴器を使用されている難聴者の聞こえを補助します。(客席内的一部分)



●日本語字幕
登場人物の台詞や舞台の音などの説明をタブレットまたは舞台上の字幕で表示します。

●プログラムデータの事前送付・点証パンフレット
ご希望のお客さまへプログラムのデータを事前にメールでお送りします。また、公演当日に点証パンフレットをご用意します。

【愛知県芸術劇場のすべての主催公演対象サポート】

●コミュニケーション支援ボード&筆談 ●車いす席等

劇場と子ども7万人プロジェクト



愛知県内には、一学年あたり約7万人の子どもたちがいます。

愛知県芸術劇場では“子どもたちに、一度は劇場で舞台芸術を体験してもらいたい！”という思いから、2015年度に「劇場と子ども7万人プロジェクト」をスタートさせました。市町村と連携しながら、地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらうことにより、子どもたちの豊かで健やかな心を育てることを目的としています。



インクルーシブプログラム

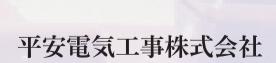
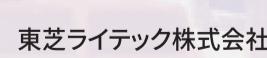
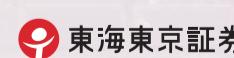
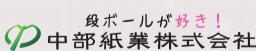
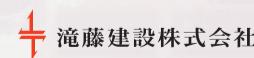
年齢・性別・障がい・国籍などに関わらず、誰もが安心して参加できる舞台公演、ワークショップ、アウトリーチなどを提供する取り組みを行っています。



愛知県芸術劇場賛助会員 (2026年度芸術文化事業コース)



医療法人 榊櫻会
赤西デンタルクリニック



愛知県芸術劇場

(公益財團法人愛知県文化振興事業団) 名古屋市東区東桜一丁目13番2号 TEL:052-211-7552(10:00~18:00) FAX:052-971-5541 Email:contact@aaf.or.jp https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

デザイン:tami graphic design.